

題材 学校と地域の関係を創造しよう

授業回数	内容の大枠	実践内容
1	オリエンテーション	昨年度、1年生時のテーマが自分たちの学校生活のためだったのに対し、今年度は地域と学校の関係作りのためであること の理解を図る。
2	テーマの理解「自分たちにとっての地域とは」	「学校」は自分たち自身であるのに対し、「地域」とは何かを考え、近隣だけではなく様々な関わりのある「人」が地域で あることの理解を図る。
3	テーマの理解「なぜ地域との関係を考えるのか」	「地域の人」が「学校」と関わる時にどんなことを考えるのかを想像し、それが他人事ではなく、自分たちにとっても大切 な自分事であることについて理解を図る。
4	プロジェクト案を考える（個人）	自分たちが行動することで地域との関係が生まれる活動のアイデアを考え、個人で一つプロジェクト案を作る。
5	プロジェクト案（個人）の共有とアイデア模造紙の作成	仮のグループを作り、個人のアイデアを書いた付箋を模造紙に貼り、同じ方向性の内容でグループ分けした「アイデア模造 紙」を作成する。
6	アイデア模造紙の見直し	仮のグループで、何かをすること自体が目的になっていないか、その取り組みが自分たちにとっても意味のあることか、相 手の考えや行動を変えようとしていないかという視点で「アイデア模造紙」の見直しを行う。
7	アイデア模造紙の見直し（意見交換）	仮のグループそれぞれが見直しを行った「アイデア模造紙」について全体で共有し、改善のアイデアについて意見交換を行 う。
8	おすすめプロジェクトの作成（プロジェクト案の絞り込み）	全体での意見交換を基に「アイデア模造紙」を整頓してプロジェクト案を絞り込み、仮のグループで「おすすめプロジェクト」 を作成する。
9	おすすめプロジェクトの完成	仮のグループで「おすすめプロジェクト」を作成、完成させる。
10	おすすめプロジェクトの共有	仮のグループそれぞれが作成した「おすすめプロジェクト」を全体で共有する。
11	おすすめプロジェクトの活動計画（個人）	全体で共有したそれぞれの「おすすめプロジェクト」の中から、個人で興味のあるプロジェクトについて課題や具体的な活 動方法を考えてみる。
12	プロジェクト候補の決定	クラス全体で「対象、何をするのか、どうなりたいか」といった観点で「おすすめプロジェクト」の課題や活動方法につい て意見交換をし、プロジェクト候補を絞り込む。
13	プロジェクトチームの決定	絞り込まれたプロジェクト候補から各自が取り組んでみたいプロジェクトを選び、正式な活動チームを編成する。
14	正式な活動開始	正式なグループでプロジェクトの具体的な計画を立て、担当教師と相談しながらそれぞれの活動を開始する。
15	正式な活動開始	時間内で往復が可能な学校近隣の範囲については、現状調査などを目的としたフィールドワークを行う。
16	計画に従って活動を進める	必要に応じてフィールドワークや外部機関との連絡などを行いながら、活動を進める。
17	計画に従って活動を進める ※夏休み中、夏休み明けの計画	必要に応じてフィールドワークや外部機関との連絡などを行いながら、活動を進める。 ※夏休み中に活動の必要があれば、計画を立て、担当教師に報告する。
18	活動報告ポスターの作成	ここまでの活動状況の確認とこれからの活動の計画をまとめ、A2大のポスターにまとめる。
19	活動報告ポスターの作成	ここまでの活動状況の確認とこれからの活動の計画をまとめ、A2大のポスターにまとめる。
20	活動報告ポスターの掲示と相互閲覧	廊下に活動報告ポスターを掲示し、自分たちのプロジェクトと関わりがあったり、共同でコラボ活動に取り組めるプロジェ クトがないかを確認する。
21～ 26	計画に従って活動を進める	担当教師に相談しながら必要に応じてフィールドワークや外部機関との連絡などを行いながら、活動を進める。
27～ 31	計画に従って活動を進める 創dayの計画と準備	担当教師に相談しながら必要に応じてフィールドワークや外部機関との連絡などを行いながら、活動を進める。 11月実施の「創day－1日創造デザインの日」に行う活動計画を考える。
32～ 37	活動の継続と創day当日に向けた準備	11月実施の「創day－1日創造デザインの日」に行う活動準備を進める。
38～ 43	創day－1日創造デザインの日	保護者にも参観の案内を出し、ワークショップやクイズラリーなどのイベント開催、幼稚園・小学校を訪問しての交流活 動、植栽やごみ拾いなどの奉仕活動、ここまでの活動のまとめ報告、通常の活動など、各チームごとに1日活動を行う。
44	創dayの振り返り	「創day－1日創造デザインの日」の活動を振り返り、成果や課題を確認し、必要に応じてアンケートの作成、実施を行 う。
45～ 47	活動の継続と最終発表の準備	通常の活動が続くチームはその継続を行いながら、最終発表に向けてここまでの活動のまとめを始める。
48～ 56	活動の継続と最終発表用スライド・発表用 原稿の作成	今年度の活動を振り返り、テーマとその設定理由、活動の経過、創dayの振り返り、成果と課題について、タブレット端末 のスライドアプリを使ってまとめ、質疑応答を含め1人10分程度の発表を行うための準備を行う。
57～ 59	今年度の活動のまとめの最終発表	グループ単位で交代しながら、タブレット端末のスライドを用いて全員が発表を行い、相互評価を行う。
60	最終発表用スライドの保存と共有	次年度の活動に向けて、年間のまとめの最終発表用スライドを保存し、閲覧ができるようにする。